

西園寺公望「西園寺公望書簡」

明治38（1905）年1

2月30日

拝啓 過刻は御懇

書被下感謝至に候。山くだされ

県元帥は今晚は差支候さしつかえ

由にて明朝九時半面会

の事に約束仕置候。其

結果により、猶十分御助

力可相願候。あいねがうべく却説千

家の方は一と先つ見合せ、ひとまづ

松岡の方に可致かと相考いたすべき

候。而して万々一山県伊しか
まんまんいち

三郎氏にも失敗候はは、其上

御相談可申候。もうすべく是非々々

伊三の方、成功仕度候。右

草々頓首

十二月三十日 公望

桂首相閣下